

上戸田地域交流センター「あいパル」は、**戸田市の男女共同参画の推進拠点**です！

男女共同参画情報コーナー(1階 階段前)や、書架(2階 図書館分館)を設置しています。また、「男女共同参画相談」として、夫婦・家族・友達・性のことなどの相談を受けています。(要電話予約)



Pick up! あいパル「イベント・講座」案内 ※詳細はあいパルのHPをご覧ください。

イベント名	内容	実施日	参加費	事前受付開始日
メンズキッチン 料理初心者のための手始めの三品	これから料理を始める男性のための料理教室。包丁の使い方、調理の基本を学びます	①7月27日(土) ②8月24日(土) 各回13:30~16:30	各回2,510円	①受付中 ②7月5日(金)~
わくわくサイエンス	小学生のための科学実験教室。仕組みを知り、自分の手で工夫しながら実験装置を作ります	①7月28日(日) ②8月18日(日) A13:00~14:30(小学1・2年生対象) B15:00~16:30(小学3~6年生対象)	各回1,030円	①受付中 ②7月5日(金)~
Pink Ribbon × HULA	フラダンスの発表、雑貨販売やワークショップを通して、乳がんについて考えてみよう	10月13日(日) 11:00~15:30	一部有料	不要
【市民大学講座】 男女共同参画フォーラム	地域で活躍する女性にご登壇いただき、お話を伺う講演会。詳細はあいパルHP、ミニコミ誌等でお知らせします	11月予定	無料	10月予定

戸田市では令和4年度から **配偶者暴力相談支援センター** を開設し、DV被害について悩んでいる方の相談をお受けしています。



秘密は厳守します。一人で悩まず、まずはお問合せください。詳しくはこちらよりご覧ください▶

DVとは、夫婦や恋人など、親密な関係にある人からの暴力をいいます。「殴る・蹴る」だけではなく「暴言を吐く・大声でどなる」「性的関係を強要する」「避妊に協力しない」「友人や家族とのやりとりをチェックする/禁止する」「生活費を渡さない」などが含まれます。

**命の危険を感じたら
110番を!**

困った時・悩んでいる時の相談窓口 (DV相談・性に関するお悩み・LGBTQ関連等)

相談の名称	実施機関	受付日	相談時間	電話番号
男女共同参画相談	上戸田地域交流センター「あいパル」	毎日(第3月曜日、年末年始除く。ただし、第3月曜日が祝日の場合は受付可)	10:00~17:00 ※要電話予約	048-229-3133
DV相談	戸田市配偶者暴力相談支援センター	月~金曜日(祝日、年末年始除く)	8:30~17:15 ※要電話予約	048-299-5886
こころの健康相談(電話相談)	戸田市福祉保健センター	月~金曜日(祝日、年末年始除く)	9:00~12:00	048-446-6453
こころの健康相談(面接相談)			13:00~16:00 ※面接相談は要電話予約	
With You さいたま電話相談	埼玉県男女共同参画推進センター [With You さいたま]	月~水、金、土曜日:9:30~20:30 日曜日、祝・休日:9:30~17:00 (木曜日、年末年始除く)	048-600-3800 (さまざまな悩み相談)	048-600-3700 (DVに関する相談)
With You さいたまインターネット相談			毎日24時間受付	
男性のための電話相談	埼玉県	日・水・金曜日(年末年始除く)	11:00~15:00	048-601-2175
お悩みチャット@埼玉			15:00~20:30	
にじいろ県民相談(埼玉県LGBTQ県民相談)	埼玉県	土曜日(年末年始除く)	18:00~22:00 (相談受付21:30)	0570-022-282
DV相談+(プラス)	内閣府	毎日24時間受付		0120-279-889

第12回

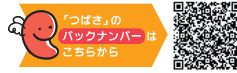
性別にかかわらずいきいきと働ける市内の企業を紹介!

株式会社JRS

当社は家具家電のレンタルをはじめ、医療・介護施設の開業・移転、オフィスの新設・移転、産業廃棄物の収集運搬など多岐にわたる事業を全国に展開しております。
「カスタマーファースト」のポリシーのもと、これまでに出会ったお客様のご要望にお応えしていく中でサービスを拡充してまいりました。従業員皆が「感謝」の気持ちで大切に日々業務に携わっております。

JRSの従業員は半数以上が女性です。子育てや家事を両立しながらいきいきと活躍しています。もちろん女性だけでなく男性の育児取得の実績もあります。少子高齢化の時代、これからは介護と仕事を両立する従業員が増えていくことも見据え、それぞれのライフステージに合わせた支援体制を構築してまいります。

今年度は休暇制度の改善や、人員の補強に取り組んでいます。一人一人が心と身体に余裕をもって長く働き続けられるような職場づくりを目指しています。「JRSで働いてよかった!」と皆が思えるような職場環境を今後も社員と一緒につくっていききたいと思っています。



編集後記

〇「育児・介護休業制度を利用できるか」→「できる」割合が平成29年度調査より17.1%高い点も印象的でした。色々なことが少しずつでも良くなりますように。(アヅ)

〇アンケートの分析は、意外と難しい。幅広い年齢層に意見を聞き、社会の動向を知る良い手段でもあるため、市の施策に反映できるよう読み解いていくことが大切。(畑井)

〇今、朝ドラが面白い。女性で法律家になる主人公の話だ。昭和初期で男尊女卑が残る時代に、毅然と生きる姿に心打たれる。ハテ?この男女共同参画情報紙もまさに「トダにつばさだ」。(頼所)



戸田市男女共同参画情報紙

つばさ



特集

つばさ編集協力員と読む

男女共同参画に関する市民アンケート



Contents

- ・ 特集
- ・ 戸田市からのお知らせ
- ・ 戸田市の男女共同参画の推進拠点「あいパル」のイベント・講座案内
- ・ 困った時・悩んでいる時の相談窓口
- ・ 性別にかかわらずいきいきと働ける市内の企業を紹介!

特集

つばさ編集協力員と読む 男女共同参画に関する市民アンケート

戸田市では、第五次戸田市男女共同参画計画が中間年を迎えるに当たり、令和5年度に「男女共同参画に関する市民アンケート調査」を実施しました。アンケート調査報告書とその概要版は、戸田市ホームページでご覧いただけます。今号では、「つばさ」編集協力員がピックアップした調査結果を一緒に見ていきましょう。

調査結果をもとに「第五次戸田市男女共同参画計画改定版」が策定されたよ！

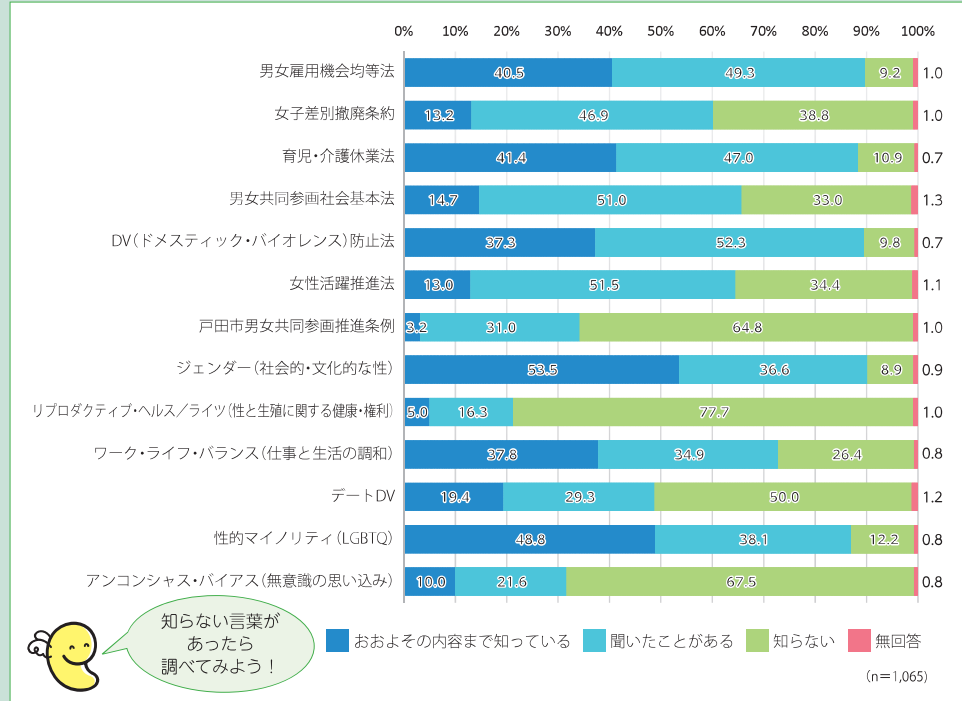


戸田市ホームページはこちら



男女のあり方をめぐる用語の認知度

Q. 次の用語をあなたは聞いたことがありますか。



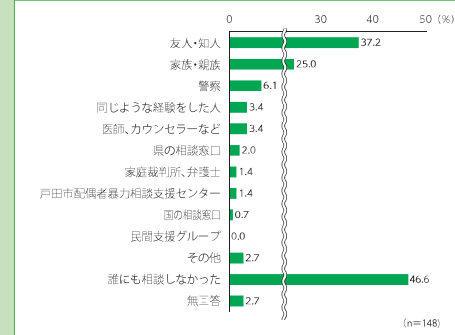
ここでの法や用語が出来たのも、大半が平成の時代になってからだと思うけれど、青少年時代を昭和で過ごした私には知らない法や言葉が多かったよ。法やカタカナ語でわかりにくいこともあるけれど、まずは知ることが大切ではないのかな。調べることで、男女のあり方にも新たな気づき生まれ、そこから男女共同参画への関心と理解を深めることにつながると思う。昭和の適切が令和時代では不適切になることもあるのだと、充分理解し認識しなければいけない。

こうした市民アンケート調査結果を載せて、広く市民に閲覧できるのも、男女共同参画情報紙「つばさ」の役割であると思うし、今回も気づき考えるきっかけになればと願うところだね。



DVを受けた時の相談先

Q. DVを受けたとき、あなたは誰に相談しましたか。



DVの経験についての設問では、DVを受けたことが「何度もあった」「1・2度あった」という回答の合計が、配偶者(パートナー)からは11.0%、恋人からは5.8%でした。「あった」と回答した方にさらに「DVを受けた時の相談先」を質問したところ「誰にも相談しなかった」(46.6%)が際立って高く、その理由として、「相談するほどのことではないと思った」(34.8%)、「相談しても無駄だと思った」(31.9%)、「自分が我慢すれば、このままやっていけたと思った」(31.9%)が高い結果となりました。

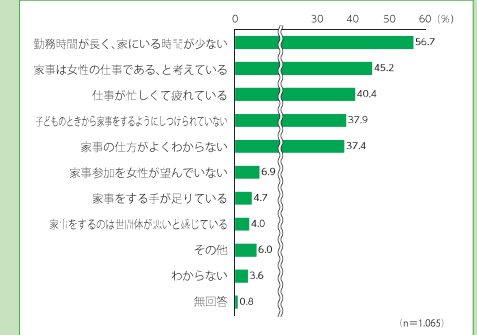
多くの場合、DVは繰り返しが起きます。そして、加害者はエスカレートし、被害者は抵抗したり逃げたりする気力を失くしていく傾向があるといえます。「この程度で大き過ぎ」「まだ大丈夫」と思わずに、早い段階で対応することが大切です。また、「自分さえ我慢すればいい」と抱え込まず、「相談しても何も変わらない」と絶望せずに、今すぐにでも声をあげてほしいと思います。



「戸田市配偶者暴力相談支援センター」については、裏面をご覧ください。

男性があまり家事に参加しない理由

Q. 男性があまり家事に参加していないのはなぜだと思いますか。



総務省の令和3年社会生活基本調査によると1日平均の家事関連時間は、女性が男性の4倍でした。これを受けて今回のアンケートでは「男性があまり家事に参加しない理由」を調査しました。

第2位は「家事は女性の仕事である、と考えている」となっており、家事に対する考え方は旧来の社会を引きずっているとと言えます。また、その裏付けとも言える理由として「子どものときから家事をするようにしつけられていない」「家事の仕方がよくわからない」といった回答が続いています。近年、学校における男女平等教育は浸透してきています。こうした幼少期からの取り組みにより、将来世代の家庭において、長く定着してきた家事に対する意識が徐々に変化していくことが期待されています。

最近、学校では裁縫・調理・洗濯、日曜大工など男女の別なく学習できるみたい。家でもお手伝いをしながら家事を体験していけば、得手不得手はあっても一通りはできるようになるよね。



～戸田市からのお知らせ～

埼玉縣市町村における パートナーシップ制度の連携開始

連携協定締結自治体間の転出入時に、提出書類の一部省略や届出内容の引継ぎができる等、制度の継続利用が可能となりました。



詳しくはこちらから

男女共同参画人材リストの 登録者募集

戸田市在住や在勤の方で、ご自身の知識や経験を活かし、会議に参加してまちづくりにご協力いただける方を募集しています。



詳しくはこちらから